

乾いた音

(ぼち、ぼち、ぼち
右手の人差指がクリックする)

忙しなく回転するディスク
低く呟くような静穏さ

目まぐるしく変化するディスプレイ
その動きをひたすら追うように仕組まれている

意識の介在しない興奮
感覚の介在しない興奮

足りないもの
それは、運動であり、その残像

(ばち、ばち、ばち
乾いた音がする)

操っているのか
それとも操られているのか

あまりに安易であること
そのことだけが重大な意味を持ち得る

進化という名の外部イノベーション
増大する無力、増大する依存

ほくそ笑むことさえもなく
無表情に、しかも華々しい祭りのように

そこに放り込まれる
生臭い無秩序、煽動

それらは全て、単なる排泄物であり
置いてきぼりにされた人間の喘ぎそのもの

(ばち、ばち、ばち

乾いた音が沈黙の部屋に響き渡る)

瞬く恒星は予言する
歪んだ重力の基地が近づいていることを

安易であるが故に、我々は
このディスクを手放そうとはしない

それどころか
我々自身の生命に意味を見出さない

殺しあうこと
それは単なる統制の不足なのだ、と

操作している、という錯覚
正確である、という妄信

(ぼち、ぼち、ぼち
右手の人差指がクリックする)

一瞬のうちに集合する破壊の快楽
その餌食となる、お手頃な無抵抗

意思、というものは既に消失し
偶然の一致だけが推進力を生み出す

大気の下での悲鳴を許さず
その受け入れ機能として箱を用意する

(ぼち、ぼち、・・・)

<殺せ
抹殺しろ>

(2009.1.31)